京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金…▲三ヶ月前金…▲六ヶ月前金…▲郵稅一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 二月十九日
發行編輯兼印刷人 山下□□
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

●東洋拓殖會社の設立に就て（二）

盛岡高等農林學校教授　伊藤清藏氏談

斯の如く哀なる狀況に在る所の韓國は、果して古代よりズット斯くひどくなつて來て居るかといふことは一つの疑問であつて、古き建物即ち宮殿の如きものを見るのに、支那、日本の關係は盛でなかつたらうと思ふけれども、而も今日の如き甚しき狀態に在つたとも考へることが出來ない、歷史家の證明する所に據れば、韓國民は人種上から之を觀察すれば我日本の國民と殆ど同一なるものであつて、人種は國民性の或意味に於て現はれるものとするならば、日本と似たる文明の發達をすることが不可能といふことも出來なからうと思ふ、唯韓國が此の如くに至つたのは其政治上より生じた國民性に依つて漸く哀れな狀況に在るのであつて、本來人種其物として惡いといふことは出來ないと思ふ、我々に對する應對の狀況を考へて見ても無智なる者として我々は之を輕蔑することは出來ないだらう、又躰格其物に就て考へて見ても、日本人より以下の躰格を持つて居るといふことは出來ない、其生活の狀態が非常に下等であつて、早婚の弊、温突の如きもの〻甚しい狀態に在つても尚ほ今日の躰格を維持して居ることを見れば、決して國民の躰格其物が惡しき爲めに斯く哀れな狀態に在るとは考へることは出來ない、是等のことを綜合して考へて見れば、若し韓國民が適當なる政治の下に適當なる教育を受け、適當なる衛生的行爲を行つたならば又絶對に分らない將來の發達を爲すことが出來ると考へる、殊に氣候の狀態から之を見るも、韓國の氣候は世界の最も善良なるものである、其大さから考へて見ても伊太利に匹敵すべきものであつて、其狀態が能く之に酷似して居つて、若し適當なる技に文明を作り出すとすれば、單に東洋を動かすのみならず、世界に其影響を及ぼすことも出來ないといふことはない、併し斯つて之を今日の韓民に求むるとするならば、或は非常な長い年月の間に全く不可能といふことは出來ないだらうけれ共、短年月の間數十年の如き短き年月の間には如何にしてもそれが出來ないといふことを考へる、唯韓國が自ら之を開發し、韓國內にある所の天然と人類

即ちもう少しく詳しく言ふならば、韓國に在る土地とそれから植物、動物及び人類を最も能く利用して世界の文明及び安寧の爲めに之を提供する爲めには、其中に新なる活力が這入て來ることが必要と思ふのである。それで日本人が若し自分の考では韓國の中に十人に對して一人の割合で這入ることが出來るものとすれば、日本は此人を送ることに依つて將に其過剩にならんとする所の人を送るの道を得ると共に、韓國に於ては是に依つて今日の二倍或は三倍の生產を擧げて、單に日本から來た所の人を養ふばかりでなく其自國民を亦增加して行くことが出來ると考へる殊に、其一般の幸福を增加することに於ては非常なるものであらうと思ふ。

歐洲文明及び殖民の政策は、今日までは殖民地の人に害を與へて、其殖民地の人を減らして、さうして殖民國の人を植付けるものであるといふ如く一般に考へられて居つた、例へば北亞米利加に於て歐羅巴人が土人を滅亡して、さうして自ら其處に繁殖した如き、布哇の土人を歐洲人が殆ど之を絶滅せしめて此處に殖民した如き、又近くはアイノをして殆ど其經濟的立場を失はしめ日本人が北海道に殖民した如き、皆其例として擧げられて居る、併ながら其例は唯一を知つて二を知らないものである、少しなりとも古き文明を持つて居る國民であつて、特殊の發達を行つた所に殖民をした所の國は、今日に於て孰れも其殖民地の人を壓して母國の民を唯獨り茲に繁殖せしむることが不可能であるといふことが分つた、又是が人道の上から見ても非常に惡いといふことは言ふまでもないことであるが、最近の調査に殖民地に入ると共に、殖民地の人を利することに依つて母國が其れより以上得ることが出來るといふことが分つて來た、最近數十年間に於ては殖民政策の理想が一轉して、各國共に競ふて殖民地の發達を圖るやうになつて來た、さうしてそれが又事實に於て現はれた、瓜哇の如き、南亞米利加の如き、墨西哥の如き、印度の如き、或は西印度諸島の如き、亞弗利加の一部の如き、埃及の如き、皆歐洲殖民の結果は歐洲文明の刺戟に依つて其處に住する土民の經濟的地位を非常に進めたるのみならず、又其人口の增殖を刺戟して人口を增加したことが少くない、米國の某經濟學者が其事實を認めて、歐洲人が其殖民政策に依つて曾て此世界から絶滅せしめた人間の數と、其刺戟に依つて增加せしめた所の人の數を比較して、其數を上げたのを自分が見ましたが、其結果は歐洲文明の刺戟及び歐洲の殖民に依つて增加したる歐洲以外の國民の人口が著しく超過して居るといふことが明かになつた、最も近き例を日本の國に取つて見ても我人口は德川の初め元祿時代頃より開港以前に至るまでは約二千五百萬より七百萬の間を常に上下して、或は減り或は增した時代はあるけれども、二百年間殆ど不動の狀態を取つて居つた、其原因を考へて見るに、德川の初年に於ては我邦の舊文明が發達し得べき最高の程度に達して、其不便なる交通機關と各藩に割據せる經濟上の孤立と、自領內より必ず自己を養ふ材料を得んとする努力と、それ等のものが相合して實際其當時に於ては我邦の全生產力を擧げて二千七百萬以上の人を養ふことが出來なかつたのである、言を換へて言ふならば、我邦には既にマルサスの所謂人口の制限が行はれて、より以上の人を我邦が既に養ふことが出來なかつたのである、

●日清の葛藤

紐育アメリカン特派員ロバート、クローシアー、ロング氏は去る二月八日倫敦より其本社に向ひ左の如き通信を電送したるよし曰く英國極東通の斷言する所に據れば此次ぎ日本の侵略の目的物となるべき運命を有するものは米國に非ずして清國なり米國の順番は日本が同國と戰ふて成算ありと認むるに至るまでは廻り來らざる可し今を去る十四年日本の清國と戰ふて之を破るや世人私に想像すらく極東の覇權に對する日清兩國の主張は茲に永久に解決せられたりと然かも清國は駸々として覺醒し此の想像の中らざりしを示せり成程清國は日本に後るゝこと三十年なり然れども清國は遂に確に覺醒し來りて活氣あり不撓なり革命的なり殊に一般外國に對して排外の精神強く就中日本に對する排斥熱最も大なり同國は今尚ほ其腐敗せる軍隊に對し日本教官を聘用せるも然かも是れ必要に迫らるゝが爲めのみ米人若しくは歐洲人に比して十分一の經費を以て足るが爲めのみ然れども同國も今や是等外人に代ふるに自國教官を以てせんとし日本の野心を憎むは軍人も改革派文官も共に然り現に改革派新聞紙は昨年を通じて日本排斥を呼號し日本教官に代ふるに國土遠隔にして危險少き獨逸人を以てせんことを主張したるが殊に重大なるは今や外務部が日露戰爭の結果として日本の强請せる無數の要求を拒絶するを恐れざること是れなり日本は豫て其奴隸と想像せし清國より斯くの如き不遜の態度に接して初めは之を憤怒せしが其憤怒は今や變じて著しき喫驚となれり勿論日本は再生せる清國より侵略を被る可しとは思惟せざれども然かも嘗ては固く手に握り締めたる清國の今やスル〳〵と掌中より辷り脱けんとし而して其の全然自由の身となりて自國よりも更に一層侵畧的となるの單に時日の問題たるを覺ると同時に稗史に所謂一千萬の兵勇も遂には驟然たる事實となり猛然として日本排斥に着手する可きを看破せり左れば日本の目的は清國が斯くの如き狀態に達せざるに先ちて早く之を征服せんとするに在り是れ米國攻擊よりも更に差迫りたる必要なり何となれば日本若し今直ちに米國と戰はんには其結果は到底自國を疲憊せしむるに過ぎざる可く加ふるに清國の鋒の一面に閃めくを見ん是れ政治家の研究せる所なり目下日本が清國に向ひ頻々として難題を吹掛け動もすれば千八百九十年の再演を見んとするが如きは全く右の理由に基くものといふべし日本は外交文書と倫敦に於ける機關新聞を利用して日清問題の頗る重大なるを說得せんとするも然かも問題の重大となれるは日本の脅嚇的執抑の然らしむるものゝみ葛藤の第一原因は豆滿江附近の些々たる間島問題のみ第二は法庫門鐵道問題なり清國の主張は清國は滿洲に於て主權を有すといふに在り是れ國際法と現行條約に據り亡ふ可からざる所なり第三は伐木問題、更に第四は關東の所領問題是れなり熟々之を見るに右の問題中重大と認む可きものは一として之あることなく只日本が兵力を以て清國を脅嚇するの口實として問題を重大なりと吹聽するのみ清國は能く危險を知れるも然かも其の動くこと遲緩なり思ふに日本は猫の如く機を窺ひつゝ第一の機會を捉へて清國に飛蒐るならんと云々論旨　ふ可しと雖も外人が如何に日清の關係を臆測するかを知るの一資料には供せらるべし

●討伐隊逸話（二）

高橋侍從武官に呈出せる

負傷を秘して戰鬪を繼續す

陸軍步兵二等卒天願蒲は沖繩縣出身の兵卒にして步兵第四十七聯隊第八中隊に編入せられ目下延安の守備にあり時維明治四十年十月十日の朝小隊と共に黃海道延安城に於て暴徒の包圍攻擊を受くるや先づ城の南端にある南山に突貫して之を占領し續て西門外の賊を驅逐し北方飛鳳山に在りし賊の主力を擊退して後城內に於て各家屋を搜索中不圖天願二等卒の左腕上衣に鮮血を以て濕ひあるを發見し汝は負傷せしにあらずや何故早く手當せざるやと詰りしに答へて曰く然り南山突擊の際負傷せり然れども微傷にして出血も亦甚しからず且つ負傷を他兵の知る所とならんには一般の志氣爲に挫折するを恐れ殊更に秘して前進せりと其傷を檢するに左前膊の擦過銃創にして彈丸大に其の肉部を奪取し鮮血淋漓たりしを以て直に應急手當をなさしめたり之れ固より輕傷にして戰鬪力に大なる支障なく戰鬪を繼續するを得たるならんも他兵の志氣を挫折することを恐れ約三時間負傷を秘して奮鬪せし其の心根こそ殊勝なれ

陣中の一話柄

時維明治四十一年一月二十一日より公州守備隊は忠淸南道扶餘郡恩山場附近の賊徒包圍討伐をなすに當り錦江の渡船場を扼すべく命じたる靑柳曹長以下十一名は悉く韓服を纏ひ變裝隊となり外に韓人通譯一名公州一進會員三名を隨へ一月二十日午後九時守備地出發夜陪を利用して二十一日午前四時錦江左岸扶餘の上流約一里なる河岸に突出せる高地脚にある獨立家屋に達し潛伏して賊情を偵察すべく恰も賊徒の同類の如く裝ひ晝間は全部家屋內に潛伏し只一進會員をして交々土人の新探の如く裝はしめ高地上を逍遙せしめて監視哨たらしめ夜間のみ出動して賊情を偵察し且眠々ながらも韓人の呈する飮食物を背め或は隙を見て投棄する等巧みに其家人を欺き亦總ての談話は通譯及び一進會員に一任したるを以て土人も眞に賊徒と思惟し大に一行を優待し遂には予も義兵に加はるの心算なるも家族の關係上直に加擔するを得ず故に若し彈丸及火藥等欠乏せば出來得る限り盡力せん猶當地附近兩班も皆義兵の壯擧に贊同しある事なれば共々に相謀り努力すべしと實に意外の事迄發言するに至りたり爲めに直に刺殺すべく考へしも斯ては我の謀計も發覺せらるゝを以て我は巧に彼に應對し近來日軍の附近を行動すること頻繁なるを以て我等は我黨の大部團に可成速に會合したき希望なりと欺きたるに彼又曰く近來此附近には義兵來らざるも舊暦十二月二十日には約二百扶餘に集合する噂ありと因て此時合すれば都合宜しからん乍併晝間は日軍の交通頻繁なる可ならんと大に一行の爲めに斡旋したり變裝隊は之に由て尠なからざる情報を得遂に賊團に遭遇し多大の損害を與へたることあり交戰地附近の土人は既に變裝隊なりしとを發覺したるも猶一部の土人間には義兵が何か意見の衝突より同士討をなしたりとて未だ巷說し居れりと云ふ如何に呑氣なる韓人とは云へ實に批評の沙汰にあらず憫惻に堪へざるものあり陣中以て一話柄となす

新刊紹介

▲東洋時報　東洋協會の機關雜誌なり躰裁內容共に好く東洋の時務に就て論議說述する所至れり盡せりといふべし殊に論說、談話、調査、學林の諸欄は再讀の價あり（百十三號東京麴町區東洋協會發行）

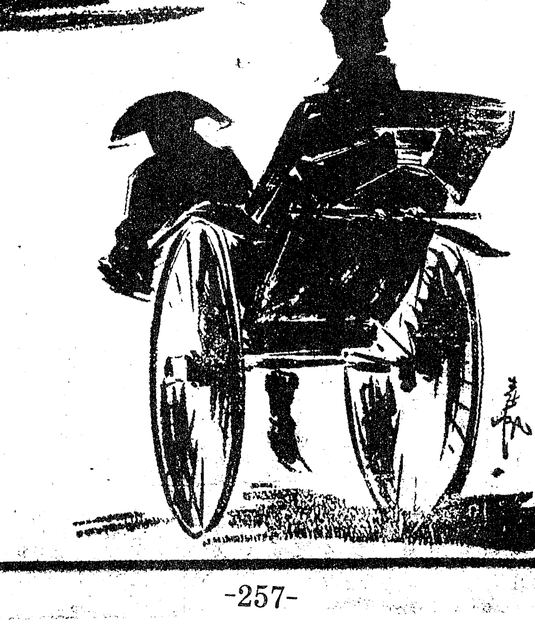
▲東京經濟雜誌　經濟雜誌中の異彩たるは今更ら言ふ迄もなし一般經濟界の問題を學理と實際とより解釋せる所正に斯界の羅針盤といふべし（一千四百三十號東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社發行）

小說

紋のみだれ（百）

永井櫻園

勇五郎は僅かな傷ながら氣分に障つて寢られぬまゝに何も左や右と考へるやう「いや異箇私が惡かつた、娘を藝人渡世を爲せるほどの量見でありながら堅氣の家の娘のやうに思つて居つたのは間違だ、大勢の客を對手の稼業だもの、殊には盛の年齡頃だもの、こんな間違は無いのが不思儀で有が當然位なもんだ、それになぜ極道したかと怒るなんとは異箇野暮だ、斯うなつた上は寛り相談して立つやうにして行くより外に爲方は無い。



噫つまらない事をした、あの折この疑見が出たら彼娘にも心配爲せなくつても濟み、自分でも斯麼過ちなんか爲なくても濟むものを、いや惡い事は能ないもんだ、それにしても今夜寄席へは往つたか知ら、噫何にしても困つた事になつたわい。」と我に問ひ我に答ふる折しも表に車の止る音がしたので、扨は清之助が歸つて來たかと心に勇みながらも弱點を示せじと故さ苦い顏して待構へて居ると「御免下さい、縫ちやん家に居るの……。」云ひつゝ格子を開けて入つたは聞馴れた清糸の聲である、勇五郎は枕頭に在るランプの心を捻上げて痛を忍び起き上つて「お師匠ですか、さあ、どうぞ上り下さい。」「縫ちやん奈何したんです、不在なんですか。」「まあ些とお上り下さい、種々お話申したい事もありますので。」

清糸は勃然とした樣子で徐々ながら上に通つた、勇五郎は聲を潜めて、「では、今夜寄席の方へ行きませんでしたか。」「來るも來ないもお前さん、あんまり我任意が過ますよ、いくら人氣で出て全盛だからツて休むなら休むと日中園の中に寄席へも斷り私へも知らせて下されさうなものだのに寄にも師匠の私を本郷三界まで徒足踏まして自分は病氣だから休みますと電話か何かで斷つて顏も出さないとは藝人としては餘り我任意が過ると思ひます、それも勤か何かならまだしもですが自分の看板で自分が眞打ちをやりませんか、一体縫ちやん何處に居るんです、私やア會つて十分に藝人の作法を聞かせやうと思つて、それでわざ〳〵寄つたのです。」と腹立たしさうに述べ立てる。「イヤお師匠のお腹立は御有理千萬で一から十まで縫が惡いのです、が、それに就ては種々事情がありますので早速私が伺う筈で居りましたが御覽下さい。」と右の足を出して、「この通り足に過をして醫士に厄介を掛けたやうな事でツイ失禮して了つた。」「たや〳〵、そりやア外意事でしたね、今朝私が伺つた時まで何の事も無かつたぢやアありませんか、どうなすつた。」「イヤ事由を話さなきやア分りませんがこれも矢張彼女ゆゑに傷をしましたので、まあどうぞお聞き下さい。」と出した足を顏皺めて蒲團の中に入れそれより清之助が山田と通じて妊娠五ヶ月に及んで居る事大川への婚約を斷る斷らぬより爭論爲た事其の結果腹立紛れに銚子を投付けた事其がため清之助が飛出して今に歸らぬこと其時追掛けようとして德利の片で足を傷けた事まで洩れなく語つた。

京城新報

曾禰副統監に望む

曾禰副統監閣下、閣下現今の立場はヂレンマに陷れるの感なくんばあらず、閣下の多智なる能く此難關を突過せらるゝならむ、然れども傍觀者より觀察すれば、何となく氣遣はるゝ也、閣下とは切ても切れぬ桂侯と伊藤公との關係が近時妙ならざるは公然の秘密也、閣下が副統監となる際に於ても桂侯との默契ありし事は今更辯ずるを要せず、西園寺內閣の增稅案より、拓殖會社設立案の事に及び、伊藤公が桂侯の事情に不滿を抱き事毎に衝突せんとする趨向を呈す伊藤公の虛榮心は桂侯の勢力が增大するは自己の權勢を削がるゝに至らんと思ひ、暗に百方之が防遏に勉るも桂侯の勢力や駸々として進み容易に之を拔く能はず、伊藤公の儕として何の役權がと侮りたるに、今や其勢望の意外に伸張せるに驚ける也、伊藤公の傀儡者閣は憾に茲に存す歸任の遲々として帝都を離れ得ざる原因も亦茲にあらむ閣下の伊藤公に於ける關係は桂侯との關係とは趣を異にすと雖も、亦一種の關係あるを以て素氣なく敵對行爲を取る譯にも至らず、閣下が內心大に苦衷せらるゝを諒とす如何に伊藤公の行動に不快なるも表面元勳として崇めざる可らず、さりとて閣下は桂侯の意志に反する行動は無論取る能はず、閣下如何に多智なりと雖も此ヂレンマを無事に通過するとは、或は難事ならむ、然れ共此際洞ヶ峠の鶴主義は決して採る可らず、風說は桂內閣組織せられ閣下は亦た大藏大臣たらむと云ふ、之風說に止るべし、何となれば桂侯の巧智なる現時の政局に當るが如きことなからむ、亦云ふ閣下は現職を去りて拓殖會社の總裁たらむと、之も亦世評に過ぎざらむ、何となれば閣下にして手腕を揮はむとせば、現職にありて充分に其手腕を發揮せらるればなり、殊更に位置を轉ずるの必要あらんや、唯根本の革新を必要とするのみ、余輩をして忌憚なく言はしむれば、桂侯をして統監たらしむるか、桂派を代表して閣下自ら統監となるかにあり、伊藤公の統監政治は事實に於て失敗せり、既に日韓兩國の民心は離反せり、此儘に經過すれば更に失敗を繰返すに過ぎざる也、閣下と雖も伊藤公を頭に頂きては從來の關係上自由手腕を揮ふ能はざる也、之れ桂侯を統監とするか閣下自ら統監となる必要ある所以也、閣下にして統監となり、實權を具有するに至らば、拓殖會社の施設亦自由也、若し夫れ伊藤公にして統監たらば、桂侯との關係上事毎に面倒ならむ、韓國經營上內輪揉の絕へざる如き事ありては其發展を妨害す、之れ余輩が閣下に向て勇斷を望む所以也、閣下の立場として之が發議者たるは甚だ困難の事情多らむ、然れども私情に驅られて國家の大事を誤る可らず、閣下夫れ今は唯斷ずるの時也、明哲なる閣下は能く之を斷ずるの勇あるを信ず、非乎。

暴徒巨魁の決議

頃日暴徒の巨魁柳許、柳其他の面々江原道の某所に集會を開き一の決議を爲したりと云ふ而して其決議として韓人間に傳へらるゝところのものを聞くに左の如し

一 太皇帝を攝政と爲す事
一 國賊現內閣を更迭せしむる事
一 眞實愛國の士をして新內閣を組織せしむる事
一 第二韓日協約中より日人韓吏採用の一個條を削る事
一 前記の目的を達する爲に伊藤統監の歸韓を待て公に上書する事
一 伊藤公にして若し吾人の意を納れずんば一擧して京城を襲擊する事

東京邊にて鎮定に近かしと稱せらるゝ暴徒の鼻息は斯の如く荒し知らず藤公今如何なる夢を見つゝあるか

日韓合併

傳者曰く皇城基督教青年會は近々其濟國本部の手を離れて東京基督教青年會に合併すべしと云ふ次に來る者は京城日報と大韓新聞の合併なるべし余輩は政治上の日韓合併を欲するものなりと雖前二者の合併の如きは爲さずもがなと思ふ

伯林報

▲兩敗將の決闘

露國スミルノフ將軍はフォーク將軍と決闘して重傷を負へり

▲ステッセルの換刑

ステッセル將軍は軍法會議に於て禁錮十年の處刑宣告を受けたるが今回之れに換ふるに官位を褫奪したる上軍籍を除かるゝ事となれり(以上十九日發)

北京電報

▲辰丸解放と謝砲

第二辰丸は今日解放せられ同時に清國軍艦よりの謝罪禮砲の發射を受けたり(十九日發)

東京電報

▲東洋拓殖案通過容易

東洋拓殖會社法案の議決に付衆議院各派交渉の結果一同何等の異議なく既に議會開期切迫せるを以て急に之を決定するの方針を取ることゝなり多分緊急決議の下に通過すべし(二十日發)

各地電報

▲暴徒彥陽を襲ふ

本日暴徒彥陽に襲來したるを邑外に擊退し尙交戰中にして駐在所財務署民家七戶燒毀され財務署官金四百二十圓を掠奪せられ我兵一名及在留日本人一名負傷すとの報あり當地より兵八名憲兵四名應援のため急行す(十九日釜山發)

▲賊團を招致す

新豐里に在る奥村中佐の報によれば十七日同中佐は車道善秦容都及び其の部下二百名を招致して其の武器悉皆を押收し車道善は抑留し秦容都は抵抗せしを以て斬殺せりと(十九日北青發)

記者曰く曩に咸興來電の報ずる處によれば車道善は甲山地方の賊徒五百八十餘名と共に歸順したりとありしに今また右の電報に接す想ふに歸順後の行動不穩なりしため此の處置を執りしものならんか暫く記して後報を俟つ

●第二小學校長交渉 來る四月一日より開設せらるべき第二尋常高等小學校長に就ては[illegible]京城尋常高等小學校長横山彌三氏任命せらるべしと[illegible]

●卒業證書授與式 京城居留民團立京城尋常高等小學校にては來る二十六日卒業[illegible]

●柔術の演習 昨二十日より警務廳に於て柔術の演習を開始せり

雜報

●宮中に於ける外戚の勢力

故議政尹容善氏の息尹德榮氏が其女の皇后として冊立せらるゝや氏は海豐府院君に封せられ韓皇室の外戚となるや氏の家門の光榮は韓八道に輝くに至り漢城の士人をして羨望する所あらしめたるが尹氏の宮中に於ける勢力は隆々として旭日昇天の勢を以て四邊を壓するの狀況にて內閣總理大臣李完用氏の如きは殆んど尹氏の爲めに左右せられつゝありと氏は兼て四十五萬餘圓の債務を有するを以て此債務の整理に就て皇帝に請願する所ありたりとのことなるも其債務が果して四十餘萬圓あるや否やは知るべからざれど皇帝に請願したるは事實にて氏の宮中に於ける勢力は漢城の政權者を壓しつゝありと云ふ

●皇城基督教青年會の合併

宗政混同に關し兎角の評を受くる皇城青年會が目下或關係の板挾みとなりて苦境にあるは事實なり而して其原因は創立以來同會は清國上海基督教青年會本部に附屬したるを以て何事を爲すにも日本側に對しては自由なりしが一昨年來社會事情變移の爲め伊藤統監に接近し日本側より年額一萬圓づゝの補助を受くることゝなりたるが補助金は單純に來らずして同時に種々の干渉をも受くることゝなりたるを以て聞くところによれば日本側干渉の程度は現狀に止まらずして近々同會をして上海本部の手を離れて東京基督教青年會に合併せしむるに至るべしと云ふ

●海外の韓字新聞 今回浦鹽に於て發行したる韓國人の經營に成る新聞は上海に於て發行しつゝある韓字新聞及布哇在留韓人が發行せんとする雜誌等之を見るに何れも排日を鼓吹せんとするにあるが如し思ふに彼等は本國の排日派と氣脈を通じ之を海外に於て鼓吹し以て世界の同情を惹かんとするにあるものゝ如く其系統は排日派より來れるものたるや明かなり

●韓國官吏の貯金規定改正 昨年議政府令を以て發布されたる韓國官吏の貯金を改正したり其大要は奏任以上は俸給及び手當月額百分の二、判任官及び雇員は俸給及び手當月額百分の二、賞與を受けたる時は賞與額百分の十とし貯金擔當主任より每月俸給中より控除し銀行に預け入れ各人の預金帳を保管すること等なり

●義親王の外出 昨二十日午前十一時義和宮は李[illegible]容氏を伴ふて龍山なる李址鎔氏[illegible]

●十九日參內者 昌德宮計二十九人(內婦人五人)重なるは法部大臣趙重應、[illegible]

●露國貨幣通用禁止 咸鏡北道就中浦鹽潮春方面の交通に便なる地方にては露國貨幣大に跳梁し殆んど日韓の貨幣を壓せんとするの狀態なりしが度支部にては之れが通用を禁止すべしとの訓令を發したり

●水道給水期 昨年以來京城內に敷設中なりし水道は已に鐵管の敷設を終り目下急ぎ給水の準備中なるが遲くとも七八月頃迄には給水の運に至るべしと云ふ

●稅關統計の改善 當局に於ては本年より各港の貿易統計を著しく改良したるが一層統計を確實にし且報告を敏捷ならしむる爲め過日來各稅關及支署の統計主任を招集し協議する處あり昨日を以て終了を告げたり

●洪州事件首魁の懲戒特免 洪州暴動事件にて流配に處せられ次で特赦令に依り解配せられたる閔宗植、羅寅永、吳基鎬、金寅植、李容泰、閔衡植、鄭寅國、崔翼彬、李貞鎔、李沂、徐彰輔、尹柱贊、李光秀、崔東植、徐廷禧等の懲戒を免ずべしと內部より內閣に提議したり

●京城孤兒院 京城孤兒院は李愚範なる人の篤志に依りて設立せられたる一の私立孤兒院に過ぎざりしより氏は之れが爲め殆んど一家の產を傾けたるも韓人の多くは此慈善事業を度外視して一人も顧みるものなかりしが曩に我皇太子殿下の御渡韓に際し金五百圓を下賜せられ有栖川殿下より金百圓を賜り其他田中宮內大臣德川貴族院議長よりも夫々寄附せられたるより大に韓人を刺激するに至りたるより韓人有志者より爭ふて金品を寄附するもの續々出來り殊に韓皇室よりは龍洞宮を下賜せられ太皇帝よりは之れが修理費として金二百圓を下賜せられ更らに嚴妃よりは本月に至り白米三十叺及び孤兒の衣服諸道具代として四百五十圓味噌四甕を寄附せられたれば院主を始め孤兒一同は皇室の慈善の厚きに感泣し居れりと

●渡韓憲兵隊 二月十五日以來東京、仙臺、名古屋、大阪、廣島、熊本、旭川、弘前、姬路、善通寺、小倉の各憲兵隊本部に於て速成教育中なりし豫、後備各兵科下士卒は今回修習を了せるを以て去る十五日下士は前官に從ひて憲兵軍曹若くは伍長に、兵卒は同上等兵に任じ前者を韓國憲兵隊附とし後者を同隊に編入したるが右の中小倉、熊本の分のみは門司に其の他は凡て昨日正午迄に廣島に集合憲兵少佐石井權藏氏の指揮の下に今明日頃宇品より仁川、城津、木浦、釜山、淸津地方へ直行する事となれり總員は前記石井少佐以下士官、下士、上等兵一千餘名なりと

●暴徒討伐情報(軍司令部着)

△開城守備隊報告 三月八日開城守備隊より出したる下士斥候は九日同地東北九化場に於て約十名の暴徒に遭遇し二名を殪し又同日派遣したる他の斥候は十一日朔寧南方約三里の地に於て十餘名の賊に遭遇し其七を殪せり

△達泉守備隊報告 黃海道達泉守備隊は同地附近に於て三月九日約百二十の賊を襲ひ其廿一名を殪し一名を捕ふ

△橫城守備隊報告 橫城守備隊より派遣したる步兵分隊は三月十三日同地北方約四里に於て賊を襲ひたる後更に同日の夜間其東方に於て集合中の約百の賊を襲ひ三十二を殪し十九を傷く

△元山守備隊報告 討伐隊は同地西北方高原西方約五里の地に於て約六十の賊を攻擊し其五を殪し二を捕へ十余名を傷く

△賊魁投降す 咸鏡南道に暴威を逞ふしつゝありし賊魁車道善、秦容都及其部下二百名は三月十七日遂に我新豐里守備隊に投降し車道善は之を抑留し秦容都は抵抗せしため斬殺し賊の所持せる武器は全部之を押收せり

院卿李載濟、侍從院卿閔丙奭、同副卿李會九、承候官尹德榮、同尹澤榮、典膳司長金旺鉉、承寧府侍從吳一泳、同洪運杓、典醫朴承準、[illegible]甲丞、同李圭元等なり

●小松長三氏(海事造船少監)[illegible]天眞樓へ投宿せり

●金融機關の不備と仁川

從來京仁地方より韓內地に向け發送せる貨物の代金は銀行、郵便爲替並に物々交換(穀類を主とす)等の三方法に依りて回收されつゝあることは一般世人の知悉する處なるが由來金融機關の不備なる韓國のことなれば銀行の設けある地方は極めて稀にして其多數は郵便取扱所さへなき僻陬の地なり然るに近來仁川に於ける穀物の輸出著しく不振の狀態に陷りたる爲め米豆の價格は日を追ふて下落せる結果內地の韓人は其所持せる穀物を仁川に於て手放すを嫌ひ釜山へ廻送する者逐日增加せり從つて釜山より受取り金を更らに仁川に支拂ふよりも寧ろ最初より釜山に於て貨物の仕入れを爲すの便利に且つ有利なるを以つて從來京仁に來りし顧客は漸次釜山へ吸收さるゝの傾向を呈するに至れり而して一旦顧客を失ふたる上は之れを恢復するには少からざる日時と苦痛を要すること理の當然なれば此傾向をして益々增長せしめんか京仁斯界の前途甚だ寒心すべきものあるを以つて一二有力なる斯業者は其善後策に就き目下考案中なりと云ふ

●仁川雜貨商況

昨今漸く所謂氷解けの時季に際せるを以つて韓人向き雜貨の賣行も茲に一區劃を立て從來の冬物は著しく需用を減じ代りて夏物の賣行好況となれるが目下最も客足繁き雜貨の二三に就き近況を報せんに

▲神戶洋紙 は漸次獨逸製壁紙に壓せらるゝの氣味あれど尙は賣行好し然るに洋紙は日本內地の需用頗る多く從つて韓國に向つて供給思はしからざるが爲め常に荷不足にて折角の顧客を失ふこと少からざる由値段は廿磅一圓八十錢十八磅一圓六十錢

▲古新聞紙 本品は神戶洋紙壁紙と共に壁の帖り更へに使用され昨今最も賣行好し其賣高の如きも非常の巨額にて百二十五斤入のもの五十個百個と注文し來るもの引きも切らずと云ふ相場は百二十五斤入一個六圓十錢位なり由來韓人は輸入りの壁紙を好まず阪地に於ても韓國輸出品は俗に綿抜きと稱し努めて綿のはいらざるものを輸入しつゝ來れり現に官報の古物の如き最も韓人の氣受けよく値段も百二十五斤入一個八圓廿錢と云ふ高率にあり

●名譽巡査瀬川氏への義捐

警務顧問補助員瀬川孫平氏が客年十月中地方暴徒鎮靜の爲め錦山分遣所に出張を命せられ着任後幾干もなくして暴徒の襲擊に遭ひ勇戰健鬪の結果衆寡敵せず終に身に重傷を負ひて瀕死の境に陷り一家又憐れにも多大なる慘禍を蒙りたる狀況は當時夙に世人の知る所にして轉た同情の念に堪へざる所なるが今回先輩の土呼子友一郎、永谷隆志、渡邊素夫の三氏發起となり氏の爲めに應分の義捐金を募り以て氏の一家を塗炭の苦みより救はんと欲し左の如き趣意書を作りて世間仁慈の士に訴ふることゝせるが苟も血あり淚ある同感の士は此の際多少に不拘奮て義捐せられたきものなり而は醵金の義は來る二十五日迄に警視廳官房內呼子友一郎氏宛にて申込むべし

熊本縣出身理事廳巡査瀬川孫平氏警務顧問補助員として全羅北道錦山分遣所在勤中昨年十月三日暴徒數百の襲擊に遭ひ身鎮定に從事せしに暴徒は氏の住家に襲進し三歲の嬰兒を抱き七歲の小女を携へ避難せんとする妻シモ子を追ひ一擊の下に小女を斬殺し刃を轉じて妻の頭部(長さ一寸深さ骨に達す)右手首(筋骨を截斷し復た用を爲さず)及背部數ヶ所に重傷を負はしめ嬰兒を抱きたる儘凶徒の群中に昏倒するに至らしめたり

當時賊勢益々猖獗を極め氏又足部に銃創を負ひ妻子の生死を顧みるの遑なく行程七里急を永洞守備隊に告げ一面所屬全州警務顧問支部に電報する等遺憾なく其任務を全ふしたり

翌四日氏は我守備隊に擁せられ錦山の任地に歸復せしに何ぞ計らん四顧暗澹妻子は一韓人に救護せられたるを聞き就て其家に至れば妻は滿身碧血氣息奄々其傍に小女の屍体と嬰兒の號泣するあるのみなりき

而して氏は同地に小女の死体を假葬したる後瀕死の妻と共に京城に後送せられ全春大韓病院に入り治療に數月を費せしかなり一先退院するに至りしも家事を執る能はず而も寒氣に觸れ疼痛を感し加之頃者餘病を併發し豫後甚だ憂ふべきものあり醫師は歸國轉療を勸むれども家政意の如くならず而かも遭難當時家財は悉く掠奪若くは燒燼せられ一物の餘す處なく入院前後の出費亦其負擔に堪へざるは勿論現時營養を加へ又は轉地療養を企つるが如きは到底薄給の能く支辨し得べくもあらず一族空しく異鄉に呻吟せるの慘狀實に名狀すべからざるものあり況んや尙は故國に奉養の老父母あるに於てをや

凡そ職を警察に奉ずる者其一身を國家の犧牲に供するは固より居常の覺悟にして時に如何なる慘害も之を甘受すべく殊に韓國の現況に於て然りとなす惟ふに昨年暴徒の討伐其他の災厄に遭ひ生命を損傷し又は家財を掠奪せらるる等の悲境に陷りたる職友亦甚だ尠らずと雖も瀬川氏一家の如く悽凉惻怛なるもの未だ嘗て其比を見ざるなり

韓國政府は氏の是等慘害に對し纔かに本人の治療實費を給せられたるのみに止まり他に何等慰藉する處なし然れども當局外良民が蒙る損害は獨り當局官吏に止まらず內氏も亦何等訴ふる處なくして今日に至れり

氏は今皇宮警察勤務に轉し爾來私情を措して職務に盡砕せる熱誠と忠實は吾等僚友の龜鑑たるのみならず眞に同情に堪へざる處なり幾きに僚友相謀りて聊か慰藉の意を表したるも固より萬一を補ふに足らず

於是乎氏に緣故を有する發起人等は遍く在韓同縣紳士先輩諸君に斯禍の實況を紹介し其熱淚に訴へ義金を請ひ瀬川氏一家の窮餓を水火の中より救濟せんことを懇望して已まざるなり

明治四十一年三月

發起人 呼子友一郎 永谷隆志 渡邊素夫 頓首再拜

追て同縣紳士諸彥以外に於て此慘況を察知し給ひ同情義捐せらるゝあらば獨り瀬川氏の幸福たるのみならず發起人至大の光榮とする所なり

●休刊

今廿一日春季皇靈祭、明廿二日日曜に付何れも其翌日

●近事片々

▲京城 日報は伊公は拓殖會社案に反對の意見を持て居るとの說は間違であると辨ず

▲亦曰 韓國經營の重任を帶る統監の意に反して如斯計畫が出來る者かと大に氣張る

▲思切て遲くなつたのは各方面から注文が出る故とは苦き辨解思切て遲とは面白い

▲伊公が前言を飜して調印を拒んだのは事實夫が爲に腰が折れて頹膽し掛たも事實

▲伊公が現內閣關係より桂侯と反目せるも事實也拓殖案の杞憂も之が爲なるや明矣

▲火酒を仰で煩悶若惱藤原古谷等を叱り飛ばしつゝ駄々を捏て調印を遷延亦事實也

▲伊藤親分桂侯の勢力增大に懊惱して知らぬ振して辯解するすまじき者は宮仕

▲統監の意に反して如斯計畫が出來る者か杯意張るが忠勤でもあるまい逆上召るな

▲北韓地方に流通せる露國紙幣の通用禁止せらる北韓には今も露の勢力伏在せる也

▲豆滿江を涉れば露化韓村の部落多し其釋然又た目る可き者有露の勢力陰然進入す

▲露化韓人往復頻繁從て露語流行しマッチの如きビーチカと唱ふ露の感化力可怖也

▲淺々露領に移住し露化せらるゝ韓人夥しヤンチカ附近の韓人部落は中々盛な者也

▲佛國 クレマンソウ內閣の信任投票は大多數を以て通過す奇傑々首相の信望衰へず

▲加特力僧侶等の反對も功能なし由之見るも政教混同の弊害は舊教國を壞へられぬ

▲獨帝も露帝も英國を訪はせらるゝとの報あり歐州に於る英の位置は今般盛の頂乎

▲獨逸に取りても露國に取りても英の一擧一動は大に反響す外交策の妙亦茲にあり

▲日本は發展と共に列國より反目され日本贔負益々減ず外交策の拙劣茲に至る慨歎

●第二小學校長交渉 來る四月一日より開設せらるべき第二尋常高等小學校長に就ては[illegible]京城尋常高等小學校長横山彌三氏任命せらるべしと

●卒業證書授與式 京城居留民團立京城尋常高等小學校にては來る二十六日卒業[illegible]

●柔術の演習 昨二十日より警視廳に於て柔術の演習を開始せり

●義親王の外出 昨二十日午前十一時義和宮は李戒容氏を伴ふて龍山なる李址鎔氏[illegible]

●十九日參内者 昌德宮計二十九人(内婦人五人)重なるは法部大臣趙重應、[illegible]院卿李載[illegible]、侍從院副卿李會九、承候官尹德榮、同尹澤榮、典膳長金[illegible]、承寧府侍從具一泳、同洪運杓、典醫朴承準、[illegible]同李圭元等なり

●小松辰三氏(海軍造船少監) 天眞樓へ投宿せり

實話 花の根ざし(四)

栗嶽庵主人

静子にも異議はない、却て夫を望むのである、さらば老夫婦に相談して極めやうといふので、翌朝朝餐が済むと直ぐ問題を持出した。

「治兵衛さむ、突然ですが昨日江景の佐藤君がきまして、恩津の斎藤で奏敬禮といふ家で教師を傭ひたいと云ふので、僕に行てはどうだとのことに僕も探々お譲した通り將來恩津で牧畜をやつて見ようと思ふ所故幸の事だから一寸行て見ようと思ひますが如何でせう、貴君方にお分れ申すのは嫌ですけれども、前途を思へばさうも行きませぬ、しかし遠い所ではなし、時々御目にかゝりに参ります」

といども感激に逃れば、爺もうなづきつゝ

「貴君の望みは豫て聞まして心に賛成して居りましたが、何れ亦機會があるだらうと思ひまして默て居りました、今貴君のお談により、私も云ひますが、そのことに就ては婆さんにも噺して居りますが、貴君もきたことであるから、お望のこと早くなすつた方がよからう、それには私等夫婦も御一所に恩津に移轉て及ばずながら少し計りの資本でもありますから、それを貴君に貸て上げ、ともかくそのことしたら如何だらう今では貴君達を自分の子供の様に思て居りますに依て、一時も離れることはできませぬ、貴君なら財産を任しても心配はなし、さうすれば双方の爲によからうと思ふてな内々婆さんにも承知さしてありますのぢやもう教師など廢めにして目的のことにかゝる方がよかあるまいか」

と眞實こめての談合、次郎も静子もその厚き親情には感せずには居られない、いま迄の親切さへに難有常に感謝の念を心頭から離したことはないのに、いま亦た此恩はぬ厚意の談合に心に掌を合せて拜んだ、お婆さんも爺に賛成して、

「私はなア爺さむの噺があつたとき、夫れは此方から頼んでもさうして貰ひたい、花崎さむなら乾度資本を失するやうなことはない、乾度儲けて殖やしてくださる、どうかなア爺さんのいふ様にしてくださいよ、私はなア静子さむとは一日も別れるのは悲しいちや」

老人は嬉しいにつけ、悲しいにつけ、さきだつものは涙である、老母の目にはもう涙が溢れる、静子も老夫婦の清き心と親切とには嬉しくて感謝の念の湧くに從ひ矢張涙の泉が湧き出でる、静子はたまらなくなつて老母の膝に打伏して、

「伯母さん、妾どもはどうして貴君方のやうな善ひた方と一所になつたかと思ふと、難有くて何と申てよいやらわかりません、伯母さむ、どうぞ妾をいつまでも娘と思つてねー」

老母は涙をほろ〳〵こぼして嬉しがる、

●司直官瀆職問題

由來韓國の官吏界には種々なる醜聞絶えざるが司直の任に當る者は比較的潔白なりとは常に吾人の聞く所なりしが爰に其の要路に居れる某々の兩官吏は某辯護士と結托して或る有名なる事件の揉み潰を爲せし由なるも他の辯護士どもの知る處となりこは聞き捨てと爲すべき輕問題にあらずとて在韓日本辯護士協會にては去る十九日協議會を開き討議の末皆川廣濟、莊子斌、岩田紀宗の三氏を委員に撰任し其の實否眞相を調査せしむることゝなりし由なるが果して事實とすれば由々敷一大問題を惹起することなるべし

●尹致午氏の結婚式 前軍部大臣尹雄烈氏の男尹致午氏は兼て仁川府尹金昌潤氏の令嬢高羅子との婚約成り居りしが來る二十三日午前十二時貞洞監督教會堂に於て盛大なる結婚式を擧行することゝなり日韓紳士及在京の歐米紳士に向け案内狀を發したり

●櫻井丸の歸港と出帆 水原守備隊の討伐隊を載せて靈興郡方面に向ひたる仁川税關の櫻井丸は一昨日歸港したるが同船は明日更に燈臺局材料を載せて鎭南浦方面に航行する筈なりと云ふ

●軍需品の輸送 大阪商船の一部御用船木浦丸は仁川陸軍運輸部より群山守備隊行軍需品七十個を積載して群山に向へり

●善隣商業の夜學生募集 大倉喜八郎氏の寄附に依りて設立されたる明治町一丁目の善隣商業學校にては今回夜學校を開設することゝし夜學専修科生五十名を募集する由志願者は四月十一日までに願書を同校に差出し十三日午後七時登校すべしとなり因みに以前京城小學校南山分教場に設けありし京城夜學校は同校に於て引繼ぐことゝなり學科も大差なしと詳くは廣告欄を見るべし

●煩悶引受所が出來る ▲生麥比翼塚の傍に 神奈川縣橘樹郡生見尾村子生麥安養寺地先の京濱電車鐵道踏切附近は本年に入て已に六七名の轢死者あり昨年よりの分を計算すれば實に三十人の多きに達し生麥の比翼塚とさへ名付られて煩悶、不可解、厭世男女、情死等の自殺者夥多きより横濱在程ケ谷町芝生臨濟宗洪福寺住職中島承敬師が深く之を悲み此儘に棄て置ば此後又も幾人の生命を喪ふやも計れず元來宗教家の立脚地から云ふと死者に引導を授くるのみが本分にあらず將に厭世感に囚られて自殺せんとするものを助くるが即ち宗教家の本分とこそ云ふべけれ而して此救濟方法は警察力を以てすべき事にあらず勢ひ吾々宗教家の因つて講ずべきものなりとし前記安養寺に煩悶引受所と云ふを設け厭世、不可解、情死等の無分別男女の相談を引受け死なずとも濟む樣に濟度し自然に傳へられたる比翼塚の名を自然に消滅せしめん方針にて百人の中よしや一人助けてもそれ丈の功徳はあるべしと昨今同村長持丸兵輔氏に謀りこれが準備中なりとは殊勝な思ひ付きなり

●僞造銀行券發見 新義州驛收金中より第一銀行僞造五圓券二枚を發見す紙質粗惡にして印刷も鮮明を缺げるも一見眞券と異らず出所不明にして取調中なりと云ふ

●囚徒四名の逃走 南部警察署の留置場に入れ置きし囚徒岡村儀平(强盗七年四)山崎久馬、垣永準一、伊藤榮藏の四名は昨朝八時頃檻窓を破りて脫出し裏門を出て旭町を悠々と上りて遁逃せし由

●書籍を盗む 本町一丁目の日韓書房へ過日來一韓人來り書籍を閲しては去り其の擧動怪しげなるより注意中の處去る十九日の午後四時頃店頭に据わゐる陳列棚に納めありし韓語大成一冊を窃かに盗み取り逃げ去らんとする所を取押へ警察署へ連れ行きたるが此の者は東小門に住へる朴在玉といへる者なりしと

●廓の花(六名の店出し) 李や櫻も間もなく花咲き出でゝ人の心の長閑となれば高樓に酒を呼ぶ阿呆鳥も樂の木の芽立ちと共に狂ひ媚めなんと有繫に營業柄さて拔目なく花月にては大阪市西區立賣堀北通二丁目松井駒吉の三女クラ(二十三年一月五日生)を三年九百圓にて抱ね藝名をれ茶羅と稱し同市西區新町北通二丁目鹽澤チヨ(十四年八月七日生)を三十ヶ月千百圓にて抱ね藝名を千代と稱し神戸市相生町三丁目多田梅吉の長女ヒデ(二十一年三月七日生)を三年一千二百圓にて抱ね藝名を菊勇と稱し△新町遊廓の大桝屋にては神奈川縣都筑郡新田村の秋元トミ(二十一年七月七日生)を三年二百五十圓にて抱ね源氏名を松夫と稱し靜岡縣駿東郡沼津町の原田哲の長女ケン(二十二年十一月二十六日生)を三年三百三十圓にて抱ね名を竹夫と稱し横濱市根岸の石井ヒチ長女サク(二十二年二月四日生)を三年三百七十圓にて抱ね源氏名を梅夫と稱し何れも本日より店出しせしめたりと郭雀より注進せり

●五雲會謠曲會 五雲會にては四月五日午後一時より南山本願寺別院に於て謠曲會を開くといふ番組及び出席者は左の如し

蟻通 鑑島氏 上村氏 小杉氏
八島 中村庄氏 ツレ 兒島氏
誓願寺 岡本氏 ツレ 寺尾氏 安西氏
放下僧 田中寶氏 ツレ 竹田氏
雲林院 島氏 和田氏

●本町座の劍舞大會 三面廣告欄に見ゆる如く本明兩日間本町座に於て彼の無雙旅行者として有名なる宮入淸正氏の爲めに劍舞大會を催す由氏は吉心流劍舞術の大家として夙に其名高く且つ吟白流の琵琶は其最も特得とする所幸ひ兩日とも休日なるを以て同好の士は揃つて觀覽せられては如何餘興としては手踊、三曲合奏、講談、手品、尺八、記臆術、琵琶、ステヽコ踊等を演ずべしと入場料は一圓と五十錢の二種なり

●取消 拜啓陳者貴社新聞第三月廿日御發行第百六號雜報欄内會社員の逃走と題し東洋火災保險株式會社事務員緒田原辰次といへるは此程會社の金若干を拐帶して逃走云々記載相成居候へ共同人は當會社へは何等關係を有する者に無之且つ會社が金圓を拐帶せられし事實更に無之全然無根の記に有之候右は去十九日付京城各新聞紙上に東洋用達會社員緒田原辰次の不正事項掲載ありしにより該記事より起りし訛傳と存候間此全文御掲載至急御取消被下度候也匆々
三月廿日 東洋火災保險株式會社創立事務所
京城新報社御中

秋月菊の傳 其二十

紫生

斯く迄無情のおとみが所置をも憎しと思はず女將は次ぎの日自ら繩田の家を訪ひて言葉を卑ふして更にお菊を今まで通り遣はし呉るゝさならば自分の力で出來る丈けは此の娘の爲めになる樣取斗らふべし十一歲の冬からして今年十六歲の娘盛りまで他人と思はず手鹽にかけて育て上げたることなれば眞實己れの腹を痛めた子も同樣只の一日も此の娘の顏を見ずば物足らぬ心地する程なれば切めて廿歲か廿一歲まで相當の處ありて嫁入るまでなりと私の手許に預りたし斯う云へば又おとみさん貴女のお氣に障るか知らねど實は好き機會を見斗ひ相當の人を仲に立てゝ此の娘を自宅の子に貰ひ度しと言ひ入れ樣と思ふて居たのですけれど到底お與れは成さるまいから貴女の方で居なければならぬまでなりとも寄來して置いて下さらぬか決して此の娘の身の爲めにならぬ樣には爲ぬ程に過日中の私の挨拶は遂ひその虫の居所が惡るかつた爲め心にもない言ひ過ぎなれば此れは幾重にも私が謝罪りもし又お前樣方のお顏の立つ樣にも爲すべければ仕にくからうが我慢をして此の娘も幸ひ厭でもない樣なれば何うか私の言ふことを聞き入れて下されとの女將の言葉も一旦斯うと云ひ出したら後へは退かぬおとみのことゝて心の中には無理ならずとは思へどもソンなら何分願ひます私とても只一時の腹立紛れ惡く思はず今迄通り目を掛けてやつて下されとは言ひ得ず喫みかけし茶をグッと呑み干し私初め此の娘の身に取りて誠に身に餘る御心切は有り難いことでは御座いますが御存じの通り此の頃では市作は田舍へ稼ぎに行つて居りますのに又私も兎角氣分が勝れませず自分で自分の身の世話も致し兼ぬる程で御座いますれば過日の行き違ひなぞ氣にかけてのことでは御座いませんが彼のことがない迄もお菊は少々手元に借り申したかつたので御坐いました實は過日御無理を申しに上つたのも市作は留守なり私も今申し上げた通りにて僅か斗りの手内職では思ふ半分の養生も出來兼るから度々にて御無理とは承知しながら他にお願ひ申す所もないものから跨ぎ惡い閾を跨ぎました譯なのですが夫れが貴女のお氣に障り木で鼻括つた御挨拶も全然御無理と斗りお怨みも致しませんが然らばと云つて盗人にも三分の理とやら今も貴女のお話し通り御自分が娘同樣愛しがつて下さいますお菊の母が云ふことと故と償し召さば彼れ程迄に仰言らずとも何んとか他に言ひ樣もお有んなさらうものにと外聞の逆怨みとでも申しませうか一時は私も赫としましたが考へて見れば此の事は元々私の方が惡いので御坐んすればモウ何んとも思はふ處は御坐いませぬがお菊の所は市作が歸つて參りまする迄お借り申して置く事に致し度う御坐います、市作も歸つて參り私の病氣も癒りますれば不束の娘ながら今迄通り御召し使ひを改めてお願ひに出ますする折角のお言葉をお聞き申さず甚だお愛想のないことですがお話し申す樣の次第なれば惡しからず御推量下さりませとの事に最早此の上言ひ開ゆるも到底無駄と見て取りし有明樓の女將は然う云ふ譯けなら據なしと心を殘して歸り行きしが殆んど此れと入れ違ひに市作は足掛へも嚴重に旅に馴れたる身裝束、擔軍に荷物を脊負はしてお菊も居るかおとみ今戻つたぜと勢能く入り來れり

廣告

新荷着御案内

東京名産の部
ホトヽギス卷、櫻花漬、八千代卷、チソ卷 梅干、エビ佃煮、ハゼ佃煮、貝佃煮、キャラフキ、新漬澤庵

京都名産の部
蕪千枚漬、蕪百枚漬樽入 水菜新漬、京都新漬澤庵、上等奈良漬、色付ナシ梅干、料理用白味噌、辦子大根白味噌づけ

大阪名産の部
金山寺味噌、鐵花味噌、山わさび、金カンデンプ、青サイカキ、花良京青トウカラシデンプ色々

靜岡名産の部
ワサビづけ

北海道名産の部
鮭筋子鹽づけ、同粕づけ、鮭粕づけ

長崎名産の部
上等カラスミ

名古屋名産の部
岡崎八丁味噌

壚から物の部
上等このわた、同うに、鰹鹽から、鮎うるか

其他各國名産罐詰瓶詰各種全部新荷着仕候間多少に拘不御買上げ願上候

勉强 親玉 たなじみのつけ物屋 京城本町二丁目 日下部商店

開業御披露
桃山の花の盛りとなれる其中にも殊に本國は京阪の本場の美人揃ひにて評判も高き腕そろいに御座います
和歌香 和歌勇 和歌千代 和歌芳
和歌浦 和歌之助 和歌駒 和歌葉
龍山桃山遊廓 和歌の家支店 (電話一六三番)

一 西小門外税關官舍敷地排水工事
一 同上板塀煉瓦塀其他工事
工事請負廣告
右一口として競爭入札に附す請負望の者は隆熙二年四月四日までに當部に就き入札人心得書契約書案工事仕樣書及圖面熟覽の上來る四月六日午前十一時當部に出願入札すべし即時開札す
入札保證金は各自見積價格の百分の五以上此契約は臨時税關工事部長坂出鳴海擔任す
隆熙二年三月二十一日
臨時税關工事部

善隣商業學校 夜學專修科 生徒募集
●第一學年生五十名●出願期日四月十二日限
●志願者心得入用のものは本校に申出べし
京城明治町壹丁目

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋
京城本町一丁目警察署前 明法學士 小川勝平事務所 電話四十一番

岩本英夫 法律事務所 京城本町一丁目 電話六二四番 仁川新町一丁目九十七番地 電話五二七番

●劍舞大會●
至心流劍舞大家、吟白流琵琶名手世界漫遊者宮入淸正君の爲めに來る二十一二十二の兩日間京城本町座に於て大劍舞會を催す同好の士は奮て來會あれ(飛入勝手、當日本町座に申込の事)
餘興 開會辭、世界漫遊談、手踊、三曲合奏、講談、手品、尺八、記臆術、琵琶、ステヽコ踊、飛入劍舞其他數番
發起者

移轉廣告
美術看板 ペンキ塗請負
京城長谷川町一丁目三十三番地 井上支店 中川勝馬

暑さ寒さも彼岸まで……新柄友禪(廿五錢より四十錢)珍色襦子(片帶二圓より四圓)東京双子(三圓以内)尾州銘仙(五圓前後)新米澤(同上)新御召(七八圓より十圓位)大將裏地(八十五錢より二圓五十錢位)美人裏地(同上)久留米絣(二圓五十錢より九圓位)久留米縞(一圓五十錢より二圓五六十錢位)伊豫絣(二圓餘より三圓三十錢)中國絣(三圓内外)唐更紗(九錢より二十五錢)天鵞絨(三十三錢)本ネル(四十五錢)綿ネル(十錢より二十五錢)英ネル純毛(三十八錢)同じく混綿(十七八錢より三十錢位)其他種々新荷入着……春袷なりとも單衣なりとも
掛直なしのまからず屋 御用達大安物屋 御誂筋仕入品 貸賣せずの即金取引店
前金御送附の外は代金引換小包郵便にて差上可申候
京城本町三丁目 和洋 丸一反物店 (電話六三五番)

薪炭 石炭 たろし 食料品 雜貨 諸官衙御用達 小賣
京城西小門通 神野商店

西洋御料理宴會
日本人俱樂部
京城南山町三丁目電話(一二三番)

開店御披露
會席御料理
すし、茶わんむし
今般新築落成仕候に付本月十日より開業仕候間續々御光來被下度奉願候
京城南山町三丁目
すし芳

一各種石炭大販賣
大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御届け可申上候
鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、楠木原、岸嶽等
三井物産合名會社
京城出張所(電話二十六番)
仁川出張所(電話六十三番)

歐米建築材料直輸入
○マルソイド便利瓦
○土居葺用防漏P&Bフエルト
○防寒P&B建築用紙
○アスフハルト各種
○銅鉄亞鉛打出天井蛇腹中心飾
○佛國製壁紙各種
○室内廊下敷物各種
○アルボリー石鹼卸
本店 東京銀座三丁目
京城永樂町二丁目
東京藤原京城支店
電話九五九番
支店 神戶北長狹通四丁目
同 清國大連伊勢町九號地

齒科全般の治療
米國最新式義齒
京城本町六丁目(蕎麥そば横町)
米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

龍山
青木醫院
(電話一〇四番)
一般衛生試驗の依頼に應す
院長 青木溥六
副院長 原志磨治
藥局長 島山貞雄
京城分院
日韓病院 百合野福松
永登浦分院 松村勝熊
病室增築中

一般患者ノ診療ニ從事ス
前院長橋本三男氏後任トシテ今般元福岡醫科大學醫員タリシ百合野寅松氏本日ヨリ診療ニ從事セラル
本院ハ最新治療法ヲ旨トシ梅毒、痳病、下疳ハ本院ノ獨特トス
腫物、婦人病ニハ特ニビール氏ノ欝血療法ヲ施ス
新王城大漢門前
日韓病院

極材木、竹類、灰
座敷廻り諸材料に注意取揃あり
右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候
㊦小森材木部
京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

入院隨意
十全病院
京城旭町三丁目
電話七三七番

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
諸帳簿
製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ在舘ノ處ニ新築落成仕候ニ付陸續御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

●大勉强廣告●
○うなぎ蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり
本町座前大和湯向
きく紋
電話九百五十四番

緊急廣告
今般酒增稅案會通過の爲め氣配昂進し釀造元値上げ致候に付不已得三月十五日より大樽一樽五十錢小賣一升三錢宛値上げ仕候に付何卒事情御洞察の上不相變御愛顧願上候也
京城酒店組合
(いろは順)
小庄支店(電話六五四)
田中支店(電話七六四)
山邑支店(電話八四九)
前田酒店(電話一三七)
酒井酒店(電話六四)
平田支店(架設中)
瀨頭支店(電話二五〇)

中折帽子、靴下各種
ブローチ及ピン
キヤラコ各種
小供洋服各種
○大割引販賣
長谷川町一の四五
和加奈商會

本店 東京市日本橋區兜町
内地支店及出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下ノ關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店及出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、平壤、大邱、開城、城津、成興、馬山、義州
清國出張所 安東縣
株式會社第一銀行京城支店
電話番號 營業部 一一番 當直用 同 一二番 營業部 二三番 國庫部 六一番 用度係 六二番 分析所 六三番
總支配人 市原盛宏
副支配人 三島太郎
國庫部長 竹山純平
副支配人 …
調査部長 …
營業部長 木村雄次

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通(電話四一〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 韓國 京城、仁川、木浦、元山、群山、鎭南浦、馬山、釜山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山、仁川、平壤、鎭南浦、安東縣
株式會社第五十八銀行京城支店
(電話五八番)
爲替取組先
東京十二ケ所 大阪二十七ケ所 北海道十三ケ所 山陽道二十五ケ所 南海道七ケ所
東海道十八ケ所 北陸道十三ケ所 山陰道三ケ所 西海道十ケ所 韓國九ケ所 臺灣二ケ所 清國一ケ所

内外書籍新聞雜誌
和洋雜貨日用品
文房具學校用品
大阪朝日新聞 一ケ月四十五錢
同 毎日新聞 一ケ月四十五錢
京城本町三丁目
平田商店
(電話百十五番)

統監府各官衙御用
荷物荷造及運搬
本店 京城本町三丁目
營業部 …
伊藤組 伊藤友松
(電話七百三十二番 四十番)

廣告
一堅牢なる中古荷車安價放賣
右多數荷仕り候に付多少共御用命の程願上候
京城南大門(千葉館前)
㊐小宮山運送店支店
取次電話一二九番
仁川驛上る
㊐同本店
電話七一六番

毎月廿日
名物 二割引 一頭八錢
一名 一口饅頭八
一錢に四つ
御菓子製造大勉强
京城本町六丁目
二八堂

原金旅館
本店 仁川理事廳通(電話三二番)
支店 京城南山町(電話一〇七番)

諸官衙御用
印刻師
京城西部治町二丁目
齊藤亭太郎

和洋御料理
並にかきかまめし
外に洋食、すし
一皿ニ付金十五錢
京城本町五丁目
本町商店前入
やまづあ

日本郵船株式會社
仁川瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會
電話三九番 電話十番
京城南大門通 巴商店
電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 四月十二日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 三月廿五日 後三時出
釧路丸 三月 日 後三時出
●大連、大沽行 商砂丸 四月九日 後一時出
山東丸 三月卅一日 後十時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 三月 日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨ號 三月廿二日 後三時出
●釜山出帆元山行 弘前丸 三月 日
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ繼續致候事